

# 第五次南牧村行政改革大綱 推進基本計画

南 牧 村

平成 22 年 4 月

## はじめに

この計画は、「第五次南牧村行政改革大綱」に基づき、具体的な改革内容を推進基本計画としてまとめたものです。

計画策定にあたっては、国の動向や今後の村の財政状況を出来る限り正確にとらえ、これからの《村づくり》を考えていかなければなりません。また、現在の行政事務、建設事業、各種行政サービス等については、発足当時と比べると目的や利用状況、社会情勢も大きく変化してきており、より効果的で住民の要望に沿ったものへと変化させていく必要があります。

これらを踏まえ推進基本計画は、「住民の期待に応えるため、質の高い住民サービスの提供」、「計画的で徹底した職員定数の見直し」、「事務・事業・補助金等を見直し」、「住民と協働による《元気な村づくり》」の四つの基本方針に沿って整理しました。

## 1. 住民の期待に応えるため、質の高い住民サービスの提供

### ① 住民サービスの低下や負担増につながらない改革

今後も住民の期待に応え、暮らし易く、不安のない活力に満ちた《村づくり》をしていくには、これまでも増して特色のある質の高い住民サービスを提供していく必要があります。

本村の財政は、今後益々厳しくなると想定される中で、これまでの行政システムのままでは、住民の負担が高くなるおそれもありますが、行政コストを下げる努力により、できる限り負担増につながらないように努力していきます。

「質の高い住民サービスの提供」を改革方針の一番目にあげましたが、サービスの低下や負担増につながらないとは、具体的に次のようなことを指します。

- ア. ふれあいテレビ加入者の減少やその他何らかの影響があったとしても利用料月額1,000円は維持します。
- イ. 水道使用料は加入者の減少や施設の拡充があっても現在のそれぞれの料金体系を維持します。
- ウ. 乗合バス・タクシーについてシステムの変更は検討しますが、サービスの低下やキロ当たり料金の変更はしません。
- エ. 公共施設利用料の改定はしません。

利用料等については、すぐにでも段階的に引き上げていかなければならない状況にありますが、改革することにより、出来る限りこの状態が維持できるよう努力していきます。

## ② 組織体制の見直し

住民の立場に立った行政運営をするために、わかりやすい組織体制、迅速な行政サービスの提供ができる組織づくりを推進します。

## ③ 財政改革

固定して支出される経費が年々膨脹する中で、地方交付税は減少し、臨時の財政需要（自由に使える金額）に余裕のない状態ですが、改革が住民に悪い影響を及ぼすことのないよう進めるためには、将来の負担について計画的に対応していかなければなりません。

今後の本村の予算規模を考えますと、公共事業の見直しを行い、計画的な借金、計画的な返済に切り替えていかなければなりません。

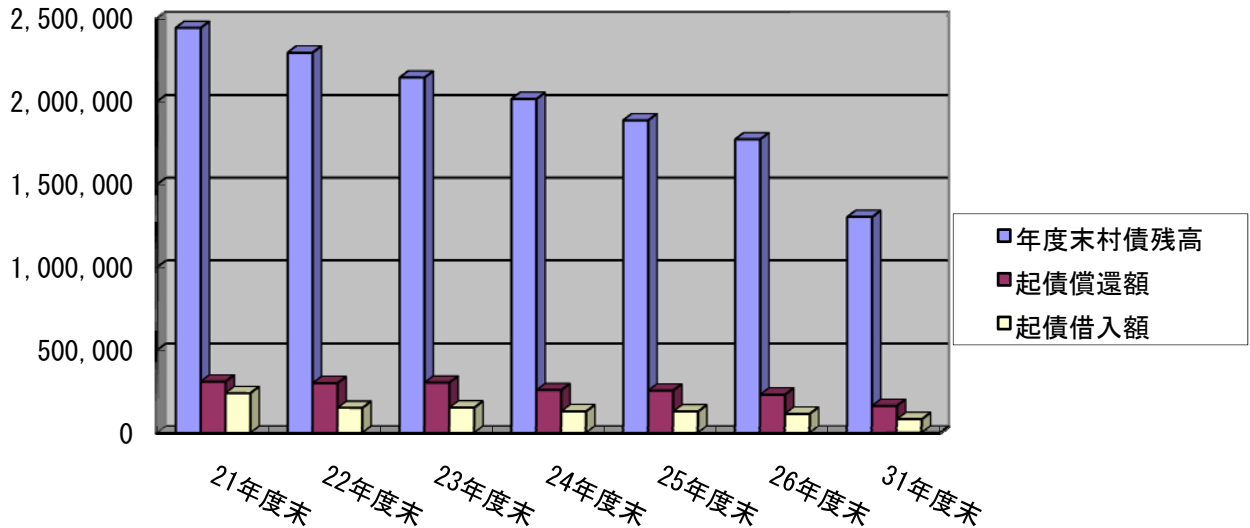
これからの具体的な村債の規模としては、表①で表わすように当該年度起債償還額の50%以内の起債借入額とすることで、10年後の当該年度末村債残高（借金残高）は現在の半分程度に削減される見込みです。長期的に見ますと計画年度の20年後には村債残高（借金残高）を10億円以内とし、その後は村債残高（借金残高）が10億円を超えないよう村債（借金）を制限し運営していきます。

表①

(単位:千円)

項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	31年度末
前年度末 村債残高	2,513,202	2,443,293	2,293,768	2,142,378	2,013,417	1,885,771	1,382,748
起債償還額	309,415	299,025	302,590	257,761	255,146	230,123	162,948
起債借入額	239,506	149,500	151,200	128,800	127,500	115,000	81,400
年度末 村債残高	2,443,293	2,293,768	2,142,378	2,013,417	1,885,771	1,770,648	1,301,200

※ 各年度の数値は予定であり、今後の経済情勢などで変動する可能性があります。



#### ④ 公有資産の管理・運営の見直し

遊休資産については、有効活用を図り、公用車については、集中管理を目指し、保有台数と維持管理費の削減に努めます。

施設の管理・運営の見直しについては、民間にできる部分は民間にお願いしていきます。利用効率の悪い施設や極端に収益性の低い施設等については統廃合し、空き施設の利用を検討していきます。

表② 見直しする施設

施設名	内容
自然公園	指定管理者制度を継続的に導入
自然休養村管理センター	指定管理者制度を継続的に導入するが、老朽化による施設の存続も含め、総合的に検討
なんもくふれあいテレビ	運営の検討
簡易・小水道施設	運営の検討
オアシスなんもく	指定管理者制度を継続的に導入し、周辺の整備もしつつ、施設の有効活用に努める
中央公民館	今後の施設の在り方の検討
活性化センター	利用率の向上
旧月形小学校	空き施設の有効利用
旧磐戸中学校	空き施設の有効利用

## 2. 計画的で徹底した職員定数の見直し

### ① 職員数の削減

内部経費として大きな割合を占める人件費の削減を積極的、計画的に進め、財源が生み出せるよう努めますが、削減されることで住民サービスが低下しないよう組織の見直しと連動し、職員の定員管理に注意をはらいます。

退職者に対して新規採用者を抑制しつつ、第四次大綱の目標の平成 41 年の職員 38 人を目標に、第五次大綱も引き続き継続的に計画していきます。

表③ 職員数の推移

(単位：人)

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度 ～ 36年度
当初職員数	66	66	65	65	63	63	59	57	54	53	53
退職者数	1	1	0	3	1	5	3	4	2	1	11
新規採用者数 <sup>※</sup>	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3
年度末職員数	66	65	65	63	63	59	57	54	53	53	45

※ 新規採用者数については、人数、年度共に予定であり、必ずその年度に採用するというものではありません。

### ② 人件費の見直し

職員給与については、国家公務員の給与に準拠して適正化を図り、財政状況に配慮しながら適正な給与水準の維持に努めていき、さらに個々の職員が計画的な事務の執行に努めるとともに、課内の応援体制、代休・週休日振替の徹底により時間外勤務手当の削減、抑制に努めます。

また、各部署による時差出勤、勤務形態の変更などを検討しつつ、住民が利用しやすい役場運営を目指します。

### 3 事務・事業・補助金等の見直し

事務、事業、補助金など効率や経費の削減が出来るものは、削減に努めますが、削減するばかりでなく、新しい制度、事業にも村民の視点に立ち、導入、実施と努めます。

#### ① 事務・事業の見直し

行政需要は年々増加し、複雑化してきています。それに伴い文書や資料も増加する傾向にありますが、文書の減量化により紙使用量を抑制していく必要があります。また、事務の簡素化、事務能力の向上に努め、総労働時間を短縮するとともに、時間外勤務時間については、第四次大綱で推進してきた代休・週休日振替による経費の削減、抑制に努めます。

現在実施している全ての事業を見直し、仕組みや方法を変えれば人的に或いは総額的にもっと効率的に事業を実施できないか調整します。

#### 主な取り組み

ふるさと納税制度を積極的に推進し、自主財源の確保に取り組む。  
定住を促進することで、人口の流出防止を図り、移住を望む者には移住しやすい環境を整え、人口、税収を少しでも増やすよう努める。

#### ② 補助金等の見直し

補助金等については、適正な見直しを行い、事業内容などから公共性の確保、経費負担のあり方、補助金等の交付に見合った効果などを公平に分析し、既に目的を達したものや効果の乏しいものは、廃止、縮小に努めます。

また、見直しばかりでなく新しい事業への補助や効果の期待のできる事業への補助金等の交付についても検討していきます。

#### 4. 住民と協働による「元気な村づくり」

住民と行政が一体となって「元気な村づくり」を進めるためには、行政のシステムを変更していく必要もありますが、住民も行政への関心がなければ達成できません。

行政は、組織体制の見直しと連動し、住民への窓口サービス提供の向上に努めます。そして、住民が行政運営に参加しやすい体制づくりや提言しやすい組織づくりを検討しつつ、行政に積極的に参画していただけるようご協力をお願いします。

#### 5. 計画の策定と改革の具体的推進

##### ① 計画の策定

今後も行政改革を徹底するために、住民と十分協議すべき項目は説明会等を開催し、たとえ小さな項目であっても改革を隅々まで徹底するために、その都度検討し、完全なものとしていきます。

##### ② 改革の具体的推進

改革推進の中心は「行政改革推進委員会」ですが、改革について住民一人ひとりが関心をもち、評価していただくためにも、住民を中心とした検討会や説明会を実施していきます。

村職員については、一人ひとりが改革の趣旨を自分自身の問題として受け止め、積極的に改革に参画し、住民の立場にたって改革が進められるよう、庁内経費削減の徹底を図っていきます。